

human

No263

2014/3

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「薬学部 学内説明会」

- | | | |
|-------------|----------------|--|
| 救急指定・労災指定病院 | さくら総合病院 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
(0587)95-6711(代) |
| 老人保健施設 | さくら 荘 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-96
(0587)95-6722 |
| 訪問看護ステーション | あすかビレッジ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
(0587)95-8623 |
| ヘルパーステーション | あすかビレッジ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
(0587)95-8026 |
| 居宅介護支援事業所 | あすかビレッジ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587)95-8027 |
| デイケアセンター | 御 嶽 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F)
(0587)95-8900 |
| 有料老人ホーム | 太郎と花子 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10
(0587)95-0111 |



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

わがグルメ放浪記

大森澄雄

二、茶菓子

古くは、茶会で出される菓子は、焼栗や果物であったようだが、盛んに茶事茶会をおこなった豊臣秀吉の使った菓子に、私は注目してみたいと思う。なぜなら、ちょうど秀吉の時代が、いわゆる本格的な菓子の使われ始めた時期ではなかったかと考えられるからである。

天正年間に秀吉の使った菓子が、二種類わかっている。一つは、天正十三年(注・年号に異説もある)に北野でおこなわれた大茶会の時に使った、長五郎餅である。現在でも長五郎餅本舗で作られ、売られており、毎月二十五日の北野

神社の祭礼の日には、神社まで出張してその場で食べさせてもくれるし、お土産物として分けてもくれる。

皮は羽二重餅のように歯障りがよく、餡は漉し餡でくどさの残らない、上品な心地よい甘さである。おまけに安い。この店の栗餅も北野名物になっている。

次は羊羹である。羊羹は、まず蒸し羊羹、次に煉羊羹、最後に本煉羊羹の順に作られるようになったが、天正年間に聚楽第の茶会で使われたのは、一番目の、天正十七年に伏見の総本家駿河屋で作られ、現在でも古代伏見羊羹の名称で売られている。伏見の総本家駿河屋では改良に改

良を重ね、遂に万治元年に本煉羊羹を創製した。したがって、煉羊羹の占める位置は低くなったが、秀吉が使ったのは、天正十七年から同二十年の間ということになる。伏見の総本家駿河屋の羊羹は、どれもどさが舌に残らない。

何回も伏見のという言葉を繰り返したが、実は和歌山にも、初代藩主徳川頼宣に呼ばれて御用和菓子商を務めた総本家駿河屋があるからである。もちろん、伏見から出た店である。

秀吉は晩年の慶長年間に醍醐と吉野で二回の大がかりな花見茶会をおこなっている。吉野の茶会で使った菓子はわからないが、醍醐の茶会で使った菓子はわかっている。大和郡山の城主であった弟の秀長が姫路から呼び寄せた本家菊屋で作られたお城之口餅という名の小粒な餅である。

秀吉が大変好んで食べたという話が伝わっているが、むべなるかなといつも思いながら私も食べている。

同じような小粒な餅は、京都の鶴屋吉信でも作られている。柚餅ゆずもちといい、柚子の香りのするやわらかい餅である。吉信にはもう一つ店を代表する菓子がある。京観世といい、(丹波大納言製小豆の小倉館を村雨様にして観世水の文様に巻いた棹物である)。さっぱりとした上品な甘さが私は好きで、時々買ってきて専ら抹茶を嗜んでいる。店は今出川通と堀川通の交差点の西北角にある。

堺町通を御所の前の丸太町通から下がったところに、松屋常盤がある。店の代表的菓子の一つは味噌松風で中に白味噌が入っており、噛み締めると白味噌の甘みが伝わってくる。なお、表面にはゴマが振

り掛けてある。

京料理は一般に冬は白味噌を使い、暑くなるにつれて赤味噌の量を殖やし、夏になると専ら赤味噌を使うようになる。それゆえ、私はこの菓子を冬の菓子として賞味している。

寺町通を今出川通から上がったところに、大黒屋鎌餅本舗がある。私がこの店で買ったのは、丁稚が七月と正月の藪入りに土産物として故郷に持って帰った丁稚羊羹である。丁稚羊羹は初め近江八幡で作られたが、現在では京都でも何軒かで作られている。しかし、竹の皮で包装する店は少なくなつた。でも、この店は依然とかたくなに包装する店の一軒である。羊羹に染み付いた竹の皮の香りは、何ともいえないいい香りである。

一条通を鴨川を渡って、少し東山の方に行くと京華堂利保がある。この店の代表的な

菓子は、湯々である。へきび粉をまぜ合わせた麩焼きに大徳寺納豆と餡を少し加えた煉り餡をはさんで、へ麩焼きの表に砂糖蜜で渦の文様が描かれた菓子である。食べた人に「美味しい。初めて食べる餡だが、何で作った餡？」と聞かれたことがある。この店には、写真で見ただけでも美味しそうな京あゆという菓子がある。店に二度行ったことがあるが、いずれも季節外れで買うことができなかった。是非食べたいと考えている。

四条通八坂神社の近くに、甘泉堂という店がある。京都の人の中に、この店の水羊羹が京都一番だという人がいるように、口に入れると溶ける感じは、言葉にいい尽せない。評判通りだと思つて私は食べかいためにうっかりすると、カバンの中で崩れることがあるということだ。

最近私は長年探し求めてきた、奈良では近代奈良茶の大茶人といわれている河瀬虎三郎の好んだ林饅頭をつくっている店(万林堂)を発見した。林饅頭とは、中国明末の菓子職人林淨因が政情不安のため日本に亡命して来て、まず落ち着いたところが、奈良で、日本人に饅頭の作り方を教えた。しかし、中国の饅頭の中身は豚肉で、しかも、奈良は寺町。売れる筈がない。苦心して考案したのが小豆餡であつた。

淨因はその後京都に行き、三河に行き、最後に江戸に落ち着き、塩瀬総本家という和菓子の店を開いた。志ほせという名の饅頭は淨因の作ったものといわれている。

なぜ私が、林饅頭を探し続けてきたのか。ある日古本屋で秦秀雄の『名品訪門』(徳間書店刊)に出会つたことにある。河瀬が集めてたものは、一

般にいう名品ではない。渋くて、筋の通つた古美術品であつた。いうならば、河瀬は室町時代の侘茶人であつた奈良の僧村田珠光に繋がる侘茶人である。

私も友人に鎌倉時代に常滑で焼かれた山茶碗を買つたので、根気よく土臭を抜こうとしたが、中々抜けず、ついに観念して街の資料館に寄付してしまつた。現在は、俳句を作つていたころの友人加藤篁火作の黒茶碗に篋火と名付けて、時々抹茶を嗜んでいるが、しかしまだ、私の頭の中には河瀬の収集品に対する憧れが生きつづけているのである。

参考文献

鈴木宗康著『京・銘菓案内』

(淡文社刊)

注・へ内は、右の文献から引用したものである。



まだまだ寒い日が続きますが、春の気配が近づいてきました。

春、多くの出逢いがあるこの時期はとっても好きな季節です。それと同時にこの時期によく思い出すのが、新入社員、医師の立場としては研修医のことです。当院においては研修医はおりませんが、以前勤務していた病院は大学付属病院であったこともあり毎年100人前後の研修医が病院に入職してきました。

働き始めの彼らは希望と不安と共に全てが初めての体験のため目が爛々と輝いています。私たちが話すことを一語も聞き漏らすまいと一生懸命話を聞いてくれます。最初は初々しく感じる事が多く、私たちも指導しやすい状況ではありますが、時間が経って行くと彼らにも自信という物が芽生えてきます。プライドという物も垣間見えるようになります。これらはとっても重要なものではありませんが、時にそれがネガティブに働くこともありました。では、自分はどうかと言うと、然りです。その後どのように行かかという、ある時期になると自信もプライドもボキンと折られる出来事がまず起きます。それを克服することが出来るか、気付くことが出来るかでその医師の成長として大きな分岐点となります。私の場合は立ち直ることが出来たのは、上司の叱咤激励と患者さんからの温かい言葉でした。私の出身は日本大学消化器外科であり、肝臓手術では日本一を誇る施設です。当時勤務は激務であり、朝6時から夜中2、3時までの勤務は当たり前環境でした。そのため徐々に感覚が麻痺をしていき、患者さんとのコミュニケーションがなござりになり、患者さんを一手術症例と見てしまう時期もありました。そんな環境の中挫折を味わう訳です。そして救われた言葉は患者さんからの「先生に出会えて良かった。」「先生の顔を見ると安心する。」その言葉によって思い出させて頂いたのです、医師になった時に強く思った志である『病める人に寄り添う医師になる。』ということ。

初心に戻るといえるのはとっても重要なことで、今になっても忙しさを理由に時に忘れがちになってしまうことでもあります。そしていつも春になると改めて自分に『初心、忘るべからず』と言い聞かせます。

さあ、この春も多くの入職者がいるかと思えます。素敵なお出逢いを期待しましょう。

太郎と花子の催し物 太郎と花子 事務 井上 愛香

太郎と花子では毎月1回俳句の講座を行っています。
入居者様の作品をご紹介します。

あおぞらに 弟と見た うめの花

春風に ふかれてみれば 黄砂かな

八十路すぎ 夫の手踊 しなやかに

敬老日 孫に囲まれ うれしなき

初孫に 超立派な 鯉のぼり



皆様家族を詠んだ俳句を作られる方が多く、普段あまりお話ししない方も昔懐かしい思い出をとて楽しんでお話しして下さいます。

その他にも、毎日のお茶会、絵手紙講座やカラオケ、歌謡舞踊、お食事会など様々な催し物を行っています。入居者様同士楽しんでる姿をみるととても嬉しく思います。

私は、7月に病院から太郎と花子に異動になりました。病院の事務と比べ、ひとりひとりと接する時間が長く、毎日の業務も全く異なるので最初は戸惑うことばかりでした。

最近では、入居者様との距離も縮まり嬉しいと思うことも多く、毎日楽しく働いています。

催し物を楽しみに過ごされている方が多いので、入居者の皆様が太郎と花子での思い出を楽しくご家族に話して頂けるように、いろいろな催しものを考えていきたいです。



私は今村奈央と申します。平成25年4月からさくら総合病院の事務職として勤務しています。私は、大学で東洋史のイスラム史を学びました。今回、イスラム教に関して書かせて頂きます。

イスラム教とは、西暦610年にアラブのムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受け創始した宗教です。現在、世界宗教としてアフリカ・アジア等を中心に約13億～15億人の信者がいます。イスラム教は一神教です。ムスリムは唯一神アッラーのみを信仰し、一日に5回の礼拝を行い、お酒は飲まず、豚肉も食わず、女性はジルバブと言われるスカーフを身にまとい、年に一回はラマダーン(断食)を行い、敬虔な信者は世界各地から聖地メッカへ巡礼を行います。

私がこの場で説明せずとも、当院で勤務されている職員や当院の患者さん方もイスラム教徒(ムスリム)とは馴染み深いかと思えます。当院はEconomic Partnership Agreement経済連携協定(EPA)に基づき、EPA看護師候補者と介護福祉士候補生をフィリピンとインドネシアから合計19名受け入れております。インドネシアからきている候補生の中にムスリムが数名います。ジルバブを身にまとい、決まった時間になると、ロッカーや休憩室でお祈りをする敬虔な姿を目にしている人もいますかと思えます。

私がEPA候補者と接する中で気が付いた、ムスリムと日本人の共通点をご紹介します。まずは礼拝時には必ず水で体を清める点です。ムスリムたちは、礼拝の前に顔や手足・耳等を洗います。日本人も神社仏閣で手水を使用して、顔や手を清めます。心を清める前に、体も清めるという考えが共通しています。

日本人は、人に対し誠実であることを良しとして、又信義が厚いとされています。ムスリムはアッラーに信義を貫き、生活をみても教えをしっかりと守っていることが分かります。対象が違ってても、信義に厚い点も似ているのではないのでしょうか。

日本人は寛容的だとされています。但し、私が思うに郷に入っては郷に従えという言葉があるように、あくまでも日本に形を少しでも変え適合しようとする物にだけ寛容的だと私は思います。実はイスラム教も、寛容的な宗教だと言われています。他教徒・多民族を受け入れその文化や慣習も受け入れてきたのです。だからこそ、現在世界各国で受け入れられ世界宗教の一つとされています。

日本人が同じ日本に住んでいても、風習・方言・文化が違うように、ムスリムといっても国や地域によってかなり違いがあります。私の勝手な考察ではありますが、相手が日本人であろうと異教徒であろうと外国人であろうと、結局はその人自身の本質を見なければ何も分からないと思います。ムスリムと日本人は、地理的・文化的・宗教的・言語的・歴史的にも接点が少ないです。私はこの病院でEPA候補者と出会えた事に感謝し、これからも候補者たちと親睦を深め、相互理解を深めていきたいと思えます。

また私は今後医療法人医仁会でたくさんの人に出会い様々な出来事に関わる中で、人や物事の本質を見極めていけるような人物へと成長していきたいと思えます。そして皆様に貢献していきたいと思えます。これからも宜しくお願い致します。

第33回 「健康を守る教室」

テ - マ : 『睡眠障害について』&セラバンドを使用した体操

日 時 : 平成26年3月22日 土曜日
13:00~14:00 (受付12:30~)

場 所 : コンドル館1F

講 師 : 耳鼻咽喉科 医師 戸田興介

参 加 料 : 無料

お問合わせ : 受付窓口もしくは医療連携室

Tel 0587-95-0015



よく、夜寝ていて何度も目が覚めてしまったり、ぐっすり寝た感じがしなかったりすることはありますか？ また、ご家族の方が見ていて大きないびきをかいていて急に長い時間息をしていないと感じて揺り起こすことはないですか？

今回は、耳鼻科医師よりいびきから無呼吸症候群による睡眠障害についてお話しします。

多くの方の参加お待ちしております。ぜひご参加ください。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売いたします。

ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

